

発 行

福井県大野市天神町1番1号

大 野 市 役 所

電話(代) 6-1111

郵便番号 912

印刷 松浦印刷所



9月の人口の動き

出生	男 23	女 27	計 50
死亡	16	17	33
転入	53	47	100
転出	40	25	65
世帯数	10,220 (前月+15)		
人口	42,649 (前月+52)		
	男 20,550	女 22,099	



# くらしの中に歌を

## 婦人や壮年の参加がほしい

市内にはいろいろな文化活動をしているグループ、サークルがあります。その中で毎週月・金曜の両日に大野公民館で合唱の練習に励んでいる大野混声合唱団を訪ねてみました。

「くらしの中に歌を、をモットーとして、若い男女が25人集まり「心の四季」や「千曲川の水を恋うる歌」などを指揮者の斎藤隆英さんを中心に猛練習中でした。団員の源清千代美さん(18歳)は

「歌を歌っていると一日の疲れがすっかりとれてしまいますし、規律あるレッスンは本当に楽しいです」と笑顔で語っていました。

昭和44年に結成されて以来満5年、これまでに文化祭や成人式に、また社会福祉施設の慰問などに数多く出演していますのでなじみの人も多い団体です。

リーダーの広瀬敏一さんは「市内には歌の好きな人が多いのですが、歌のグル

ープが少ないのは寂しいです。私たち若い者だけではなく、婦人や壮年層の参加がほしいですね。ママさんコーラスなどが早くできて互いに励まし合えるといいんですが……夢はもっと多くの仲間をつくり、歌のある明るいまちにすること」と市民文化の向上に熱意を燃やしています

11月23日には市民会館で初のリサイタルを計画している大野混声合唱団——ガンパレー

むだな水は一滴も流さない

井戸枯れを防ぐために



流水の少ない真名川(菖蒲池付近)

地下水の渇水期がまたやってきました。10月までに井戸枯れた家庭はありませんが、本願清水や篠座地域の清水はすでにわき水が止まりました。この状態でと降雪期の井戸枯れが心配です。

毎年10月ごろから翌年の3月いっぱいには田に水を引かないために浸透が少なくなり、また寒さによる地下凍結などで地下水が減ります。さらに降雪期には融雪の水を一挙にくみ上げることが重なり、家庭用の井戸が枯れます。この現象は、

スマイル  
「節水」  
決してミズクサイ  
話ではありませんぞ  
——水源  
コーナー

6年前から現れはじめ、年々渇水期間は長く、地域も広がってきました。

このように深刻な地下水の問題をどう解決したらよいか、3人の市民から意見や提言をいただきました。

中村育代さん(60歳) 泉町

将来は上水道がぜひ必要です。建設には多額の金がかかりますので、今のうちから積み立てをするなどの具体策がほしい。この冬はみんなが節水に努め、特に道路や屋根の融雪水は必要のない時には必ず止めることを実行しましょう。

坪井千歳さん(33歳) 中荒井

近い将来、織物会社は使用水の循環施

設を設けて、地下水のくみ上げを少なくしてほしいと思います。ことしの冬は市民一人ひとりが節水に目覚めるときで「むだな水は一滴も流さない」を合言葉に市民運動を展開したらどうでしょう。

森川信子さん(41歳) 糸魚町

本願清水に住む「いとよ」は大野市が

他市に誇れる唯一のものだと思います。

しかし、地下水が低下して住めないような状態になっていますので、九頭竜川・真名川にもっと水を流し、地下水を豊富にしてほしいものです。また、工業用水はある程度規制しなければならない段階にきているのではないのでしょうか。

市の対策

地下水源を増やす

市の長期対策は上水道の建設ですが、当面の具体策としては次の5項目を掲げています。

合理的な水利用

1、道路融雪装置の設置補助をことしから打ち切る

市は昭和46年から「雪のないまち」を目指して道路融雪装置設置に補助してきましたが、既設の散水式延長3.477kmと打ち込み消火栓兼用式27本をフルに使用しますと、飲料水の約2倍の水をくみ上げることになり、家庭用水を脅かすことになってきました。このため、やむなくことしから普及奨励をしないことになりました。

2、道路融雪装置の使用時間と場所の制限

雪が降り出しますと融雪装置を一齐に使用するため、急激な渇水現象が起こります。そこで使用時間と場所を組み合わせた合理的なくみ上げが実施されるよう既設町内に働きかけていきます。

3、工業用水の節水

現在は工業用水が大量にくみ上げられています。しかし、織物会社の施設を循環方式にすると使用量が5分の1から10分の1で済みますので、クーリングタワーの設置を企業に勧めていきます。

多くしたい かん養源

1、真名川に毎秒4.5トンの水を流すよう要請

大野盆地の地下水は真名川が主な源で上五条方から御給までの流域が一番大きなかん養地です。しかし、上五条方で農業用と発電用に大量の水が引かれ、本流へは、かん養源になる十分な水が流れていません。このため、市は河川管理者である建設省に、五条方下流へ毎秒4.5トンの水を流すよう強く要請しています。

2、真名川ダム完成により、効果的に蓄えられた水を下流へ流すよう働きかけ

現在は大雨が降ると一挙に河川にあふれ貴重な水を下流へ流しています。しかし、昭和51年に真名川ダムが完成しますとダム調整によってむだな水がなくなりますので、市はこの新しく生かされる水量分だけは、地下水かん養源にするよう建設省へ働きかけています。

主要地方道  
大野墨俣線

県境温見峠が開通

今後は国道昇格に努力を

主要地方道大野墨俣線の温見峠開通式が10月18日福井・岐阜両県知事代理、大野市長など関係者100人が出席して、県境の現地で行われました。

これまで温見峠付近4,272㍍は未開通であり、昭和46年から福井県は1,492㍍を総額8,080万円で、岐阜県は2,780㍍を総額3,950万円で道路建設工事を進め、このたび全線が開通しました。

この道路は大野市の幸町五差路を起点にして、五条方、中島、温見を経て岐阜県安八郡墨俣町に通じる総延長117.243㍍で、北陸地方と東海地方を最短距離に結ぶ路線です。

沿線地域は森林資源が豊かですからその開発ルートになることはもちろんのこと、中部圏南北の文化や経済の交流に大きな役割を果たすことが期待されています。

福井県と岐阜県はこの道路の重要性を早くから痛感し、昭和45年1月に両県4市9町4か村

で「主要地方道大野墨俣線国道昇格並びに整備促進期成同盟会」を結成して「早く国道に昇格して整備されるように」運動を進めてきています。

大野市にとってこの道路の整備は、越美線の全線開通の悲願と同じく、市発展の基本要件になっています。

温見峠の開通を機会に、主要地方道大野墨俣線が一日も早く国道に昇格し、整備されるよう強く要望されています。



濃霧の中でのテープカット

六呂師バイパス完成

区民、スキーヤー大喜び

県道南六呂師大野線の六呂師バイパスが完成し、開通式が10月19日地区民や関係者200人が出席して、大月地係の六橋詰めで盛大に行われました。

この道路は延長1,880㍍、幅員7.6㍍で昭和47年から県が約2億5,000万円をかけ建設してきたものです。いままでは山と谷の間の細い道で、冬期はナダレの危険性が多かっただけに、スキー場をもつ六呂師区民はじめスキーヤーにとって大きな喜びです。

人事異動

10月1日付け。係長級以上( )内旧任

- 【市長部局】▷秘書広報課長松田樵(庶務課長)▷庶務課長小林亮之介(企画財政課長)▷企画財政課長松田孝信(農務課長)▷出納課長宮本芳雄(保険衛生課長)▷保険衛生課長沢田武雄(市民会館長)▷農務課長浜竜一(都市計画課長)▷都市計画課長中村為(教委庶務課長)▷市民会館長深美不可止(下庄公民館長)▷保険衛生課長補佐松本時哉(厚生課長補佐)▷都市計画課長補佐白井志一(同課区画整理係長)▷厚生課長補佐松田光男(税務課市民税係長)▷商工観光課長補佐木下数照(監査委員事務局係長)▷市民課戸籍住民記録係長松田嘉三(同課市民税係長)▷市民課市民税係長吉田とみ子(保険衛生課保健係長)▷税務課市民税係長三井文郎(大野地区消防本部総務課長)▷農務課農地係長土蔵茂弘(市民課戸籍住民記録係長)【議会事務局】▷議会事務局次長西田忠(商工観光課長補佐)【監査委員事務局】▷監査委員事務局係長桜田達夫(農務課農地係長)【教育委員会】▷庶務課長山中幸蔵(出納課長)▷小山公民館長田刈子利一(議会事務局次長)▷下庄公民館長石丸正朗(小山公民館長)【大野地区消防本部】総務課長沢田利栄(都市計画課)



18

武田耕雲齋書

扁額

元治元年(1864)12月、武田耕雲齋

らの水戸浪士が、杉本家を本陣として木ノ本に宿泊したとき、藩主土井利恒は江戸に在役中でした。



藩の重臣たちは、種々の事情から、彼らに大野町を避けて通過するように交渉しようと考えました。しかし、藩の責任者が直接交渉したのでは、幕府

から責任を追及される心配もあって、町年寄の自発的なはからい形で処置されたようです。

12月は非番の町年寄布川源兵衛は、単身かごを飛ばして木ノ本に赴き、耕雲齋に面会して理を尽くして説き、宝慶寺から池田への道をとるよう勧めたのです。

「奚疑(なんぞ疑わん)の二字は、この時耕雲齋が自分の心境を書いて源兵衛に渡したものとわれ、扁額にして布川家に保存されています。

秋の火災予防運動週間に機会に

家庭に“火の点検”の習慣を

石油ストーブなどの暖房器具を使う季節が近づきました。11月26日から12月2日までは秋の火災予防運動週間です。この機会に次のことを家族ぐるみで実行し家庭に“火の点検”の習慣づくりをしましょう。

- 1、暖房器具が故障していないか。また使い方、場所は安全か。
- 2、老人・子供・病人の寝室は避難しやすく安全か。
- 3、たばこの投げ捨て、寝たばこはしていないか。
- 4、消火器が備えてあるか。

みんなで防ごう交通事故

<重点目標>

早めに出発、遅めのスピード、ゆとりある運転で事故を防ごう

交通事故状況(大野署管内)

年別	区分	総件数	人身事故	死者	傷者
49年		161	144	7	203
48年		193	174	5	240

(各年10月20日現在、大野署調べ)



◆……のど自慢入場整理券10日に配布

NHK主催によるのど自慢コンクールが、11月17日(日)午後0時15分から市民会館で、ゲストに菅原洋一さんと由美かおるさんを迎えて行われます。入場は無料ですが、整理券が必要です。整理券は11月10日(日)午前9時から市役所正面玄関で、希望者1人1枚当て先着順に渡します。

◆……大野城来年4月まで閉館

越前大野城は12月1日から来年3月31日まで例年のごとく閉館します。また郷土歴史館も同期間は日曜、祝日が休館日になります。

◆……農地転用許可は毎月25日までに

市農業委員会は毎月5日ごろ開いて、前月の25日までに提出された農地転用許可申請などについて審議しています。農地と採草放牧地の権利移動、農地の

転用許可申請は期日に遅れないよう、市役所へ出して下さい。

◆……「工場等設置(使用)届」を早く

大野市環境保全条例が9月30日全面施行されたことに伴い、公害発生源となる関係工場や事業所は10月30日までに「工

今月の市民相談

- 交通事故相談 12日(火) 午前10時~午後4時 市役所
- 行政・人権相談 12日(火) 午後1時~午後3時 市役所
- 心配ごと相談 毎週木曜日 午前9時~正午 市役所
- 家庭児童相談 平日毎日午前8時30分~午後5時。ただし土曜日は正午まで。 市役所
- 社会保険相談 20日(水) 午後1時~4時 大野織物工業協同組合
- 人権相談 18日(月) 午前10時~午後3時 大野公民館
- 労働相談 20日(水) 午後1時~4時 大野商工会議所

場等設置(使用)届」を市長あてに提出しなければなりません。

未提出の方は1日も早く市の生活環境課へ出して下さい。

◆……障害福祉手当の申請を

重症心身障害者福祉手当の支給範囲が拡大されましたので、次の方は12月28日までに市の福祉事務所で詳細をお尋ねの上申請手続きをして下さい。

- 1、心身障害者手帖3級をもっている人
- 2、身体障害者手帖2級以上をもつ介護を要しないシ体不自由者、聴覚・平衡・音声・言語・心臓・ジ臓・呼吸器機能障害者

◆……税務相談にどうぞ

11月11日から17日までは「税を知る週間」です。

この期間中、大野税務署では税制や税務行政などを市民に理解していただくための署内見学や、市民の意見・苦情・疑問に応じるなどの税務相談を行います。気楽においで下さい。

かには水資源(右近次郎湧水地帯)と関係が深かったをしみじみと感ずる。同時に大野盆地の縄文系統を知る上にも大きな課題がある。すなわち信濃から飛騨系統の遺物と、畿内を中心とする日本海沿岸からの北上のネットワークとなった形跡もろろ。報告の結果が待たれる。▼縄文から古墳時代にかけての歴史のナゾを秘めるトビラは、いまようやく開かれようとしている。それは、今後のわれわれ市民に残された大きな課題であり、各位の協力を切に望みたい。(M生)



昨年(昭和48年)から今年にかけて佐開と右近次郎の両古代遺跡の発掘調査が行われた。佐開遺跡については、以前から縄文土器が埋蔵されていたことは予測されていた。たまたま佐開圃場整備事業実施とタイアップして緊急発掘調査が行われ、最も包含層の多いと見られる一角を、地元の理解を得て永久保存することができたのは幸甚なことである。▼右近次郎遺跡はふとしたきっかけで、縄文中期(四〇〇〇年前)の遺物が発見され、試掘したところその包含層を見つけたもので、まことに天の恵みともいうべきである。右近次郎遺跡地帯も開発業者の好意ある計らいで保存されることが決定し、これまた結構なことである。昭和五十年年度中には調査報告書が出される見通しもついた。大野盆地山ろく地帯のみに縄文文化が発生したとしか考えられなかったものが、右近次郎の線まで延びていたことは驚異である。▼四〇〇〇年の昔も人間が生活を営むには、いかに水資源(右近次郎湧水地帯)と関係が深かったをしみじみと感ずる。同時に大野盆地の縄文系統を知る上にも大きな課題がある。すなわち信濃から飛騨系統の遺物と、畿内を中心とする日本海沿岸からの北上のネットワークとなった形跡もろろ。報告の結果が待たれる。▼縄文から古墳時代にかけての歴史のナゾを秘めるトビラは、いまようやく開かれようとしている。それは、今後のわれわれ市民に残された大きな課題であり、各位の協力を切に望みたい。(M生)